

屋久島町公共施設等総合管理計画

概要版

【背景と目的】

本町において公共施設等の老朽化が進むとともに、今後、人口減少等による公共施設等の利用需要の変化や財政状況がさらに厳しくなっていくことが見込まれています。これを踏まえ、公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現するため、本計画を策定しています。

【対象範囲】

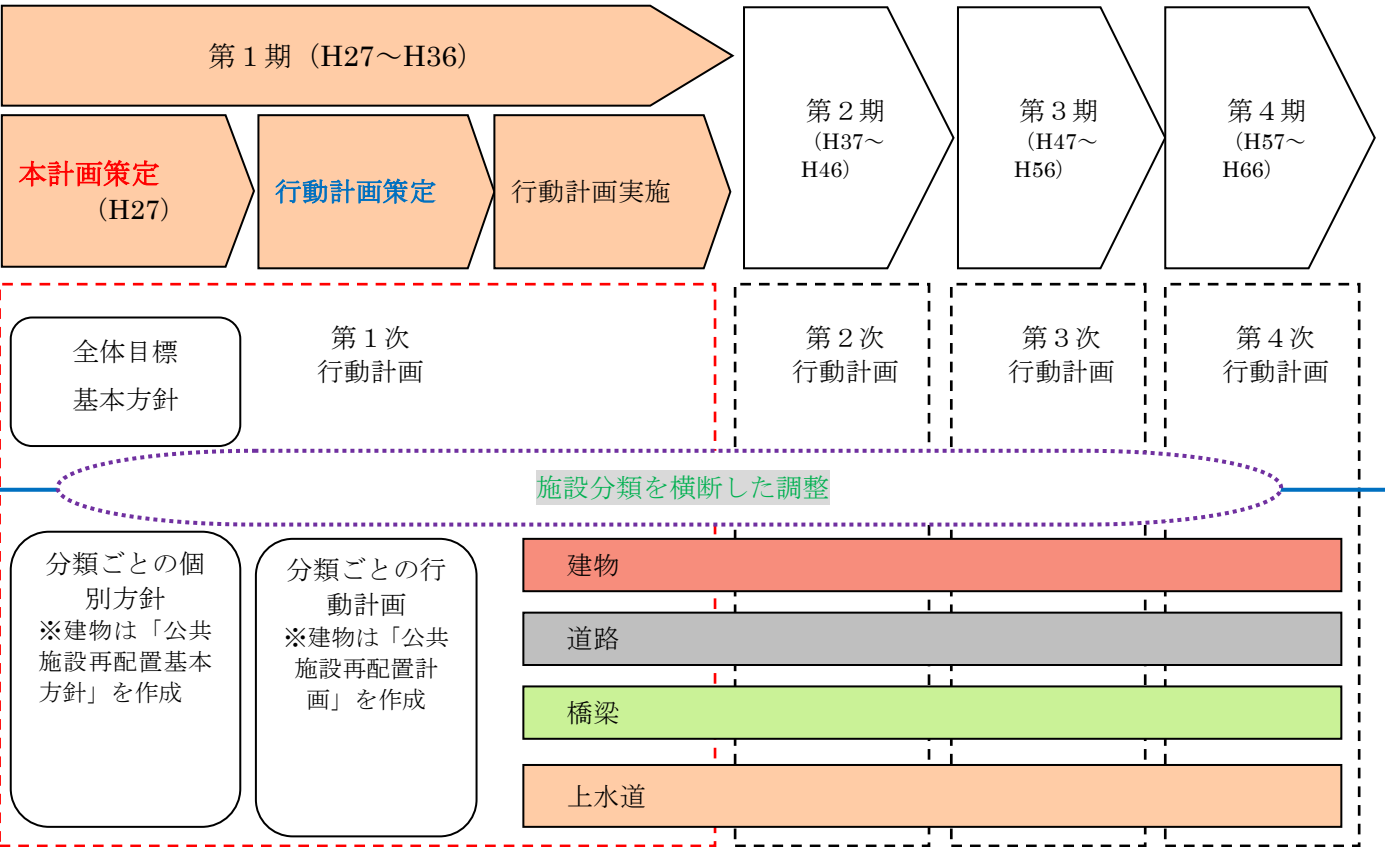
屋久島町が保有し、又は借り上げているすべての施設を対象としています。

- ・ 建築系公共施設（ハコモノ）、土木系公共施設（インフラ）、企業会計施設

【計画期間】

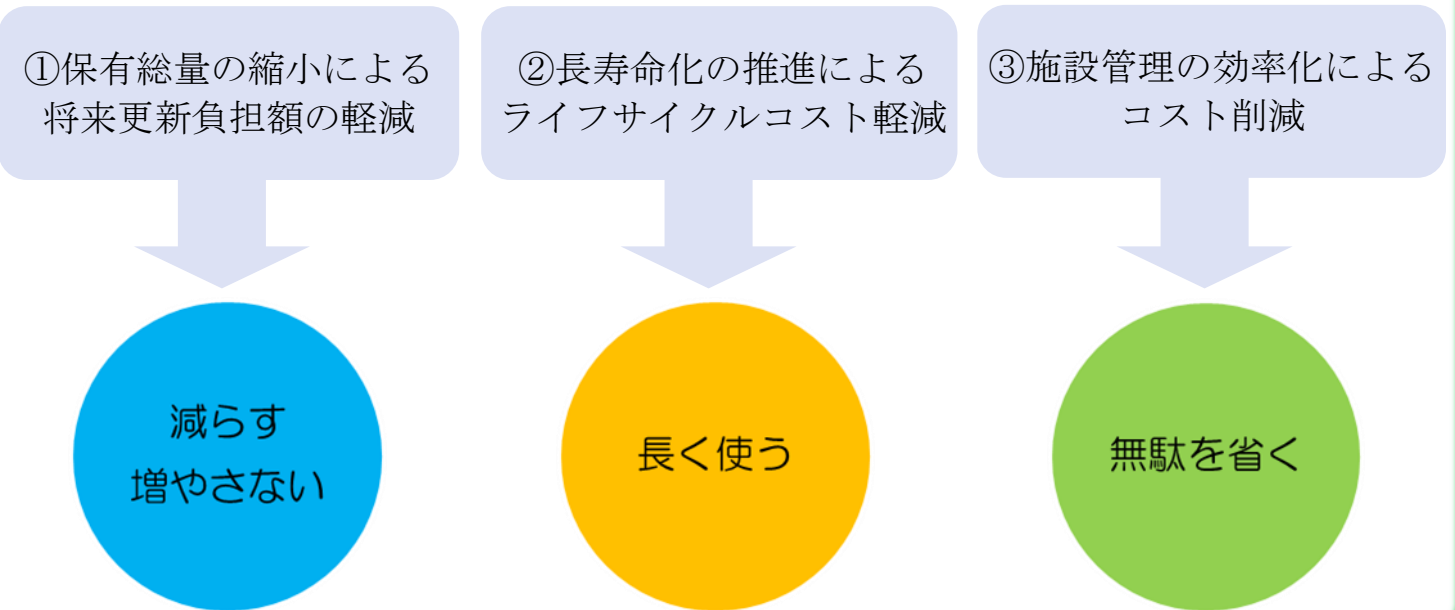
計画期間は、平成 27 年度から平成 66 年度までの 40 年間とします。

また、当初の平成 27 年度から平成 36 年度までの 10 年間の第 1 期として、以後 10 年間ごとに第 2 期～第 4 期に分け、具体的なアクションプランを策定します。



【基本方針】

公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進していくための基本方針について、以下の通り定めます。



【目標設定】

公共施設における現状と課題、施設の改修・更新にかかる将来コスト試算の結果を踏まえ、全体目標を設定します。公共施設（建物系施設）とインフラ系（土木系施設、企業会計施設）に大別し、公共施設については、新規整備を抑制すると共に、施設の複合化等により施設総量を縮減し、将来の更新費用を削減します。

40 年間で更新費用を 22.6%圧縮する！

【全庁的な取組み体制等】

＊推進体制＊

施設の各部門を横断的に管理し、施設を効率的に維持管理する目的で、町長をトップとした全庁的な取組体制を構築します。

- ①財政との連携
- ②住民との協働
- ③職員の意識改革

＊フォローアップ＊

計画については、所管課等において進行管理・マネジメントを行います。

10 年間の期ごとにローリングするとともに、歳入・歳出額の変動や扶助費等の増大、更新費用試算条件の変更などの場合に、適宜見直しを行います。

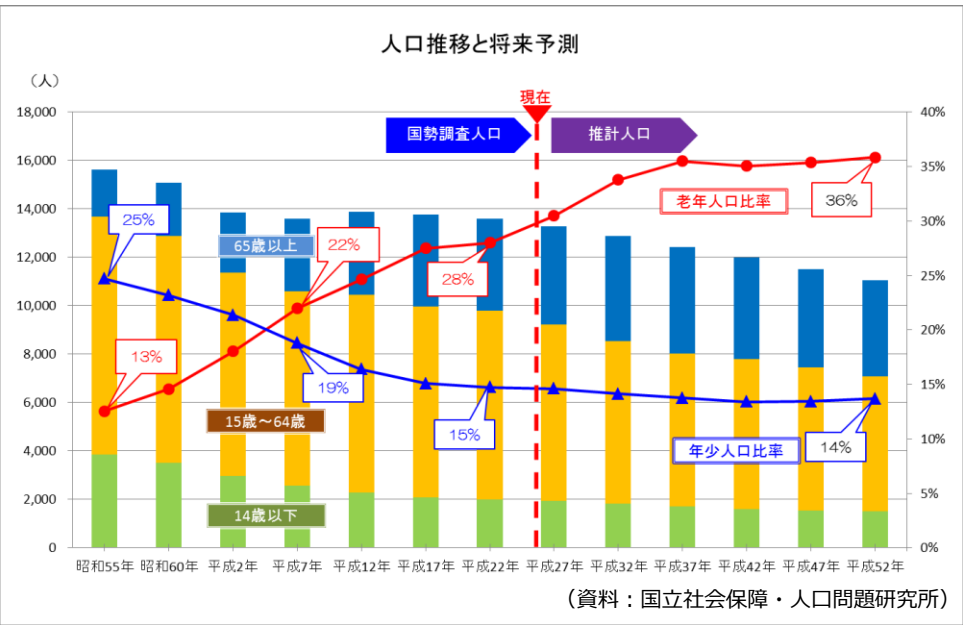
【公共施設等の維持管理方針】

- (1) 点検・診断等の実施
- (2) 維持管理・修繕・更新等の実施
- (3) 安全確保の実施
- (4) 耐震化の実施
- (5) 長寿命化の実施
- (6) 統合や廃止の推進
- (7) インフラ系公共施設の維持管理

【公共施設等における現状と課題】

＊人口の動向と将来予測＊

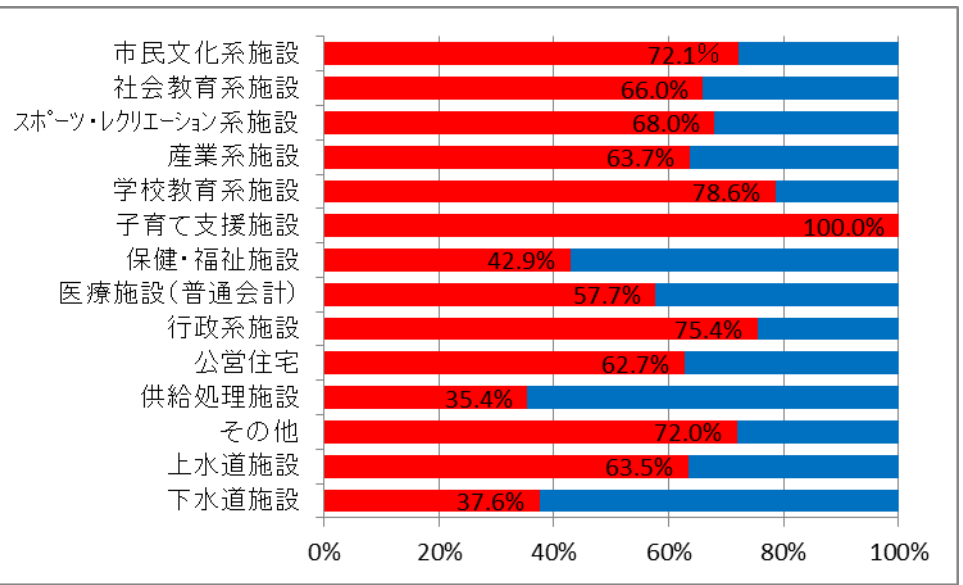
本町における人口は、およそ毎年減少を続けています。平成12年に一旦増加しましたが、今後約25年間に於いても人口減少は急激に進行し、さらなる少子高齢化がすすむことが推計されています。



＊施設の老朽化状況＊

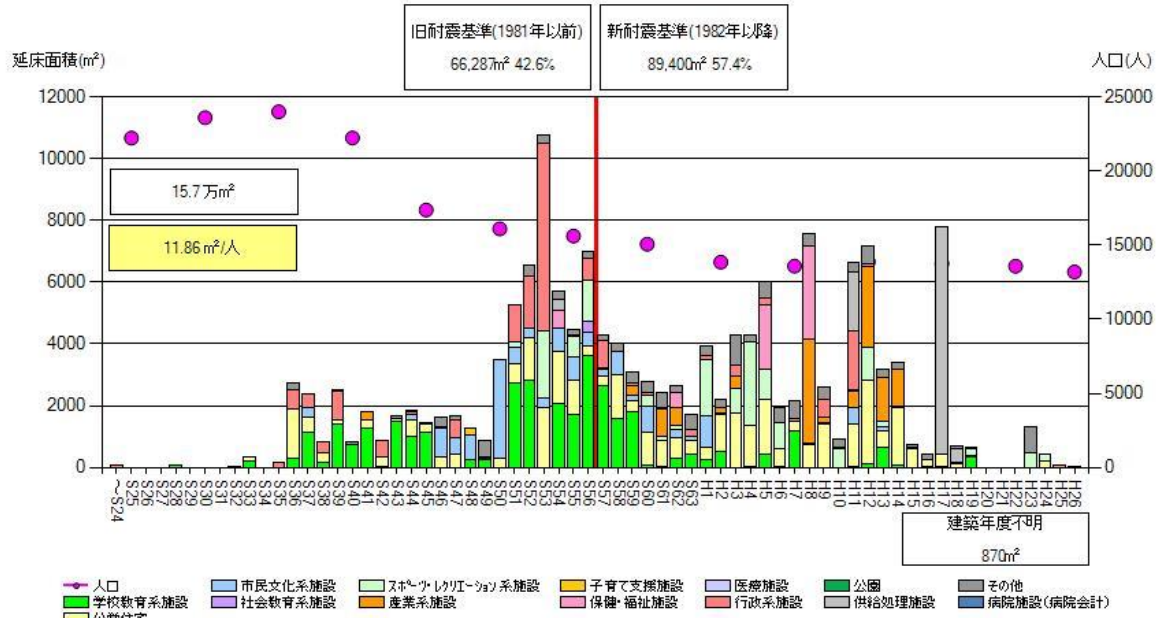
老朽化状況は、建築費総額に占める減価償却済額の割合で計算しており、図の赤色の部分が占める割合が多いほど老朽化が進行していることを意味しています。

なお、全体の老朽化率は約67%となっています。



【建築系公共施設の築年別整備状況と耐震化状況】

本町が保有する建物約15.7万㎡のうち、旧耐震基準の1981年(昭和56年)以前に建設された建物は約6.6万㎡(約43%)、新耐震基準の1982年(昭和57年)以降に建設された建物は約8.9万㎡(約57%)です。



【公共施設全体の更新費用】

建物系、土木系、企業会計すべての公共施設の更新費用を試算した結果、今後40年間で約1,009億円(年平均約25.2億円)かかることが分かりました。公共施設等にかかる投資的経費は、過去5年で年平均約19.5億円となっています。全体としては、金額ベースで、約5.7億円、割合で約22.6%(5.7億円/25.2億円)圧縮(削減)させる必要があります。特に、建築系に関する投資的経費が大幅に不足しているため、今後、財源や維持管理方法等を検討していく必要があります。

